

火災訓練を実施

須恵町消防団（長澤慎二団長）による模擬火災訓練が、11月15日（日）に旅石区で行われました。

これは、空気が乾燥し小さな火でも大きく燃え広がるこの季節に、有事の際に備え、水利の確保や防御、各分団間の連携強化などを目的に行われたものです。

この日の訓練は、同区内の古野池を火点に火災が発生したとの想定で行われました。14時のサイレンを合図に、約5分程度で各分団から車輛9台と団員約130人が現場に到着し、機敏な動作で訓練に取り組んでいました。



合図で分団間の連絡を取り合う団員

枯らさないように
育ててください

須恵第一小学校（金子辰美校長）で、11月13日（金）に被爆クス植樹記念式が行われました。

これは、須恵町自然教育林推進協議会（大場正起会長）と粕屋南ライオンズクラブ（合屋浩壽会長）の協力を得て、命の大切さと平和の尊さなどを学ぶことを目的に行われたものです。クスの苗木は、長崎で被爆したクスの木の孫にあたるもので、木戸善一さん（粕屋町在住）が大切に育てていたものが寄贈されました。

式は、5、6年生の児童と木戸さん、同協議会の会員などが参加して植樹と除幕が行われました。木戸さんは「記念樹を枯らさないように育ててください。」と話していました。



雨の中植樹を行う児童と関係者

レインボーロードの清掃活動

志免立坑橋を活かす住民の会（黒木駿吉会長）が、10月17日（土）に県道志免須恵線（レインボーロード）の清掃活動を行いました。

これは、世界に誇れる近代化遺産「志免・立坑橋」を保存して有効活用を推進している同会が、志免町と須恵町を結ぶ幹線道路を素晴らしい景観道路にすることなどを目的に、毎年取り組んでいるものです。

この活動に、同会会員や本町や志免町からの一般協力者など約50人が参加しました。ボタ山沿いのレインボーロード、約800メートルの間の草刈りを行い、その後、菜の花の種をまいていきました。



草刈りやゴミを集める参加者

同じ方向に向かって
ゴールは一緒

平成21年度生涯学習まちづくり講演会（須恵町・須恵町教育委員会主催）が、10月24日（土）にアザレアホール須恵で行われました。

今回は、ヴィオラ・ヴァイオリン・ピアノによる三重奏と講演会が行われました。

講演会は、漫才コンビの宮川大助・花子の宮川花子氏による講演が行われました。大助さんとの結婚当時の話から病気にいたるまでの話をされました。そして、大助さんとの生活について「同じ方向に向かってゴールは一緒。」と話されていました。

須恵町教育委員会委員長の大場仁氏は「須恵町では教



笑いを誘いながら夫婦の大切さについて話す宮川さん。育を基盤にすえた町づくりを進めています。一人でも多くの人に町づくりに参画していただきたいです。」と話されていました。

心と体をケアしながら
幸せづくり

高齢者を対象にした介護予防事業「わくわくデイサロン」の発表会が、10月21日（水）にアザレアホール須恵で行われました。

これは、この日同会場で開催された平成21年度粕屋郡老人クラブ連合会第12回幹部研修会のアトラクションとして披露されたものです。発表を行なったのは、曲に合わせて7色のレインボーカラーのベルを鳴らすハンドベルと心と体をケアしながら幸せづくりを行うケアビクスです。

約40人の同サロン参加者のみなさんが、約300人の来場者を前に日ごろの成果を披露し、会場も一体となった発表会となっていました。



わくわくデイサロンの成果を披露する参加者

福祉のために役立ててください

第8回須恵町チャリティーゴルフ大会（須恵町商工会主催）が、10月7日（水）に筑紫野市の筑紫野カントリークラブで行われました。

この大会に、同会会員とチャリティー賛同者など約180人が参加しました。

また、この大会の収益金の一部が須恵町社会福祉協議会などに寄付されました。同月26日（月）に贈呈式が福祉センターで行われ、同商工会会長の荻雅晴氏から同協議会会長の岡田照彦氏に「福祉のために役立ててください」と、収益金を手渡されました。



福祉のためにと収益金を渡す荻会長（右）